

製造業の再振興地域での展示会

岡山県大連ビジネスサポートデスク 岡野涼子

東北地方は古くから重工業で名をはせています。現在、その中心地である遼寧省瀋陽市では製造業用設備を軸とした産業再振興に注力しており、毎年9月、性格の異なる展示会が開催されていますので、今年の会場の様子を報告させていただきます。

1 第9回中国国際装備製造業博覧会

同博覧は、2002年当時の薄熙来商務部部長が主導し開催されるようになった東北で最大の製造系展示会です。毎年9/1～5に開催となっており、本年も同時期に「第9回中国国際装備製造業博覧会」が遼寧省瀋陽市で開催されました。

開幕式は瀋陽市陳海波市長の司会のもとで行われ、全国政協商会魏張梅穎副主席が開幕を宣言し、国家發展改革委員会副主任兼エネルギー局局长の張国宝氏、遼寧省陳政高省庁が挨拶を行いました。

会場となった展覧センターは、この度、新しく建設されました。第一回国家エネルギー技術装備展を同時開催し、「ハイテクと設備製造」をテーマとして16の国・地域及び中国の23の省・市・自治区から718社4,113小間が出展。展示面積は10万平方メートルとなり、2002年の開催以来、最大規模を記録しました。

会期中は2010年中国国際工作機械産業ピークフォーラム、2010年中国(国際)エネルギー設備産業發展トップフォーラムなどが行われており、エネルギー産業への関心が高まっていると感じさせます。

本展示会には、岡山県企業の(株)丸五の現地法人「撫順萬泰実業有限公司」が出展しました。同会社は1984年に瀋陽に隣接する撫順に友好工場の運営を開始し、その後は独資に切り替え、安全靴・作業靴の製造を手掛けています。同社製のスニーカー型安全靴が、中国国内ではほとんどみられない、「おしゃれ」で「通気性に優れ」「履きやすい」もので、価格も現地ブランドと大差のない80元からということで注目を浴び、現地の報道関係者より取材されるなど好評を得ました。

日時:2010年9月1日(水)～5日(日)

主催:中国商務部、中国国際發展改革委員会、中国国際貿易促進委員会、遼寧省人民政府

実施:瀋陽市人民政府

会場:遼寧省・新瀋陽国際展覧センター

出展範囲:デジタル機械及びその部品、オートマ機器、動力伝動・コントロール技術、エネルギー技術・
装備、汎用・専用設備、工作機械・その他大型設備など

出展社:16の国・地域、中国国内23省・市・自治区より718社4,113ブース(過去最高)

来場者数:延べ約9.7万人

2 9月9日～9月12日 第4回瀋陽輸出入商品交易会出展

本年より日本館が設けられ、同館のみビジネスデーと一般客への公開日が分けられた。同交易会は中国国際貿易促進委員会瀋陽市分会が主催。

「1」の中国装備博とは規模及び性質が大きく異なり、最終日は展示即売会の模様を呈しましたが、ロシアや北朝鮮、韓国や東南アジア諸国など辺境貿易や華僑貿易の東北での情報収集が可能です。

会期:2010年9月9日～9月12日

会場:瀋陽市・遼寧工業展覽館(12,000平方メートル)

出展国:地域数:18カ国・地域

来場者数:延べ6万人(うち、ビジネス商談者数延べ6,000人)

出展者数:239団体・企業(うち、日本98社・126名、韓国40社・70名、北朝鮮10社・24名、中国62社・240名等)

会期中の成約額:2.5億元(日本を除く、うち韓国188件2,200万ドル)